



一般社団法人 電波産業会  
Association of Radio  
Industries and Businesses

No.824 2012年3月5日

ARIBの動き

### 第3回理事会および平成23年度会員懇談会を開催

去る2月24日、ホテルニューオータニにおいて第3回理事会を開催し、平成24年度の事業計画及び収支予算等について審議し、事務局提案のとおり決議して滞りなく終了しました。

なお、これらは昨年まで2月に総会を開催し、会員の皆様にお諮りしてきましたが、一般社団法人への移行により理事会での決議となりました。

従って、2月の総会後に引き続き開催しておりました懇親会は、今年から会員懇談会の形で継続することとし、多数の会員の皆様方を始め、関係団体の方々にご参加いただきました。

会員の皆さまのご支援にお礼を申し上げますとともに、平成24年度の事業の推進に一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

第3回理事会において、次のとおり平成24年度の事業計画書及び収支予算書を決議しました。

#### 1 平成24年度事業計画書

##### 第1 方針

通信・放送分野における電波の利用に関する、調査研究、研究開発、照会相談業務等のコンサルティング、情報提供業務、普及啓発事業、電波利用システムの標準規格の策定及び関連外国機関との連絡を積極的に推進する。

##### 第2 事業計画

#### 1 通信・放送分野における電波の利用に関する調査、研究及び開発

##### (1) 調査研究

高度無線通信システムの調査研究、放送新技術の調査研究、電磁環境の技術に関する調査研究等を始めとして、今後の電波利用システムに関する技術動向、需要動向、標準方式等について、広く内外にわたって調査研究を行うとともに、関係機関からの受託調査を行う。

##### (2) 研究開発

超高精細度TV等の研究開発を始めとして、電波の有効利用に関する技術の研究開発を行うとともに、電波利用システムに対する需要動向等に基づき新たな電波利用システムの研究開発を行う。

#### 2 通信・放送分野における電波の利用に関するコンサルティング、普及啓発並びに資料又は情報の収集及び提供

##### (1) コンサルティング

無線回線の使用可能周波数及び伝搬障害防止に係る照会相談業務等のコンサルティングを実施するとともに、照会相談業務を行うための電子計算システムについて、機器の整備等を行う。

(2) 情報提供業務

電波の有効かつ適切な利用に寄与する無線局の周波数及び無線設備等に関する事項について、情報提供業務を行う。

(3) 普及啓発事業

電波の利用に関する行政方針、電波利用システムに関する標準規格及び技術開発動向等に関する講演会等の開催、ホームページによる標準規格等の情報の提供並びに機関誌・ニュース等の発行を行うとともに、地上デジタル放送方式等の国際普及活動を行う。

また、電波の有効利用に功績のあった個人又は団体の表彰を行う。

3 通信・放送分野における電波利用システムの標準規格の策定

電波利用システムの研究開発等の成果に基づき、無線機器製造者、利用者等の意向を十分に反映して、各種の電波利用システムの標準規格を策定する。

4 通信・放送分野における電波の利用に関する関連外国機関との連絡、調整及び協力

電波利用システムの調査研究、研究開発等に関する事項について、密接に関連外国機関との連絡、調整及び協力を行う。

5 電波法第 71 条の 2 に規定する特定周波数変更対策業務及び特定周波数終了対策業務

本業務は、実施しない。

2 平成 24 年度収支予算書

一般社団法人電波産業会 平成 24 年度収支予算書  
(平成 24 年度正味財産増減予算書)  
(平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで)

(単位 千円)

科 目	全 体 予 算			会 計 別 予 算			備 考
	予 算 額 (a)	前年度予算額 (b)	増 減 (c)=(a)-(b)	実施事業等会計	その他事業会計	法人会計	
I 一般正味財産増減の部							
1 経常増減の部							
(1) 経常収益							
①受取会費	251,140	264,810	-13,670	3,600	-	247,540	
②事業収益	368,925	392,100	-23,175	11,600	357,325	-	
③特定資産運用収益	56,000	47,500	8,500	-	-	56,000	
④雑収益	100	100	0	0	0	100	
経常収益計 (A)	676,165	704,510	-28,345	15,200	357,325	303,640	
(2) 経常費用							
①事業費	587,070	658,540	-71,470	160,200	426,870	-	
②管理費	114,500	116,700	-2,200	-	-	114,500	
③予備費	24,595	29,270	-4,675	-	-	24,595	
経常費用計 (C)	726,165	804,510	-78,345	160,200	426,870	139,095	
当期経常増減額 (A)-(C)	-50,000	-100,000	50,000	-145,000	-69,545	164,545	
2 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計 (A)	0	0	0	0	0	0	
(2) 経常外費用							
経常外費用計 (C)	0	0	0	0	0	0	
当期経常外増減額 (A)-(C)	0	0	0	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	-50,000	-100,000	50,000	-145,000	-69,545	164,545	
一般正味財産期首残高	3,364,231	3,464,231	-100,000	-	-	3,364,231	
一般正味財産期末残高	3,314,231	3,364,231	-50,000	-145,000	-69,545	3,528,776	
II 指定正味財産増減の部							
当期指定正味財産増減額	-	-	-	-	-	-	
指定正味財産期首残高	-	-	-	-	-	-	
指定正味財産期末残高	-	-	-	-	-	-	
III 正味財産期末残高	3,314,231	3,364,231	-50,000	-145,000	-69,545	3,528,776	

注 1 本収支予算書は損益ベースで作成している。

また、全体予算中の前年度予算額は、「平成 23 年度収支予算書」の収支ベースから損益ベースに組み替えている。

2 事業収益の各項目の収益額がその予算額を上回った場合には、会長が別に定めるところにより、その上回った額の範囲内において、これを当該項の事業費の額に加えて費用に充てることができる。

3 債務負担額 0 円



第 3 回理事会の様子



会員懇談会で挨拶される  
片山会長

### 第 189 回技術委員会(通信分野)を開催

第 189 回技術委員会(通信分野)を開催しましたので、その概要をお知らせします。

- 1 日時 平成 24 年 2 月 22 日(水) 午後 2 時から 3 時 35 分まで
- 2 場所 当会第 6 会議室
- 3 議事概要
  - (1) 公共ブロードバンド移動通信開発部会の活動状況についての報告
  - (2) 公共ブロードバンド移動通信開発部会設置要綱の改正についての審議
  - (3) 第 83 回規格会議の結果についての報告
  - (4) 700MHz 帯高度道路交通システムの標準規格の策定についての報告
  - (5) WINDS 利用実験実施協議会 第七回総会の結果についての報告
  - (6) 第 23 回電波功績賞表彰候補者の推薦依頼についての説明
  - (7) 平成 23 年電波利用懇話会の開催状況についての報告
  - (8) 第 18 回書面表決による技術委員会の結果についての報告

審議事項の議題(2)については、異議なく承認されました。

**第 94 回電波利用懇話会開催のお知らせ**  
**「700MHz 帯高度道路交通システムの標準規格の概要について」**

一般社団法人電波産業会においては、情報通信審議会できりまとめられた「700MHz 帯安全運転支援通信システムの技術的条件」に関する一部答申を踏まえて、2月14日に、ARIB STD-T109（700MHz 帯高度道路交通システム標準規格）と ARIB TR-T20（700MHz 帯高度道路交通システム陸上移動局の接続性確認に係る試験項目・試験条件技術資料）を策定いたしました。

これらの標準規格等の策定により、地上テレビジョン放送のデジタル化により空き周波数となる 700MHz 帯の一部を用いて、交差点等における交通事故を削減するため、車載器同士や車載器と路側器間で、自動車の位置や速度情報等を送受する車車間通信・路車間通信を実現する安全運転支援システムの実現に向けて大きく踏み出すこととなりました。

当会では、下記により、今回の標準規格の策定に積極的に取り組まれた ITS 情報通信システム推進会議 運転支援通信システム専門委員会 標準検討 TG の佐々木 邦彦主査を講師にお招きし、標準規格などの概要と、将来の安全運転支援システムの実現に向けた本規格の応用の可能性などを中心にして、わかりやすくご講演を頂くこととなりました。

会員の皆様には、是非ともご参加下さいますようにご案内申し上げます。

記

- 1 日 時 : 平成 24 年 3 月 27 日(火) 午後 2 時から 3 時 30 分まで
- 2 場 所 : 一般社団法人電波産業会 会議室 (日土地ビル 11 階)  
東京都千代田区霞が関 1-4-1 TEL:03-5510-8592
- 3 題 名 : 700MHz 帯高度道路交通システムの標準規格の概要について
- 4 講 師 : ITS 情報通信システム推進会議  
運転支援通信システム専門委員会 標準検討 TG 主査 佐々木 邦彦様
- 5 対 象 : ARIB 正会員及び賛助会員
- 6 参加者 : 70名程度 (定員になり次第締め切らせていただきます。)
- 7 申込先 : 当会ホームページ (<http://www.arib.or.jp/>) の「講演会等開催案内」まで
- 8 参加費 : 無料
- 9 問合せ先: 企画国際部 電波利用懇話会事務局 芝山まで  
TEL: 03-5510-8592 e-mail:arib-seminar2011@arib.or.jp

## 第 83 回規格会議の決議に基づく標準規格等の電子ファイルの公開について

平成 24 年 2 月 14 日に開催された第 83 回規格会議の決議に基づき、以下の標準規格の策定 4 件、改定 4 件、技術資料の策定 1 件、改定 5 件の電子ファイルを ARIB Web ページに公開しましたのでお知らせいたします。

- 1 構内無線局 920MHz 帯移動体識別用無線設備標準規格 (ARIB STD-T106 1.0 版)
- 2 特定小電力無線局920MHz帯移動体識別用無線設備標準規格  
(ARIB STD-T107 1.0版)
- 3 920MHz 帯テレメータ用、テレコントロール用及びデータ伝送用無線設備標準規格  
(ARIB STD-T108 1.0 版) (日本語版及び英語翻訳版)
- 4 700MHz 帯高度道路交通システム標準規格 (ARIB STD-T109 1.0 版)
- 5 IMT-2000 DS-CDMA and TDD-CDMA System ARIB STANDARD / ARIB Technical  
Report (ARIB STD-T63/TR-T12 Ver.9.21)
- 6 IMT-2000 MC-CDMA System ARIB STANDARD / ARIB Technical Report  
(ARIB STD-T64/TR-T13 Ver.5.80)
- 7 OFDMA Broadband Mobile Wireless Access System (WiMAX™ applied in Japan)  
ARIB STANDARD (ARIB STD-T94 Ver.2.3)
- 8 OFDMA/TDMA TDD Broadband Wireless Access System (Next Generation PHS) ARIB  
STANDARD (ARIB STD-T95 Ver.2.1)
- 9 700MHz帯高度道路交通システム陸上移動局の接続性確認に係る試験項目・試験条件技術  
資料 (ARIB TR-T20 1.0版)
- 10 地上デジタルテレビジョン放送運用規定技術資料 (ARIB TR-B14 4.8 版)
- 11 BS/広帯域CSデジタル放送運用規定技術資料 (ARIB TR-B15 5.6版)
- 12 セグメント連結伝送方式による地上マルチメディア放送運用規定技術資料  
(ARIB TR-B33 1.3 版)

電子ファイルのダウンロードが初めての方は、以下のARIB Webページの注意事項等を確認の上、行って下さい。

[http://www.arib.or.jp/tyosakenkyu/kikaku\\_tushin/index.html](http://www.arib.or.jp/tyosakenkyu/kikaku_tushin/index.html)

ダウンロードリスト (一覧表) へのリンクも、上記ページに張られています。

なお、IPR検索サービスについては、今回の規格会議でのIPR情報を更新済みです。  
この検索サービスは以下のURLでご利用いただけます。

<http://www.arib.or.jp/tyosakenkyu/sakutei/IPR/index.php>

高度無線通信研究委員会 標準化部会 Future IMT WG

主査 高野 祐美子



(KDDI株式会社 技術企画本部 電波部 管理グループ 課長)

高度無線通信研究委員会標準化部会 Future IMT WGの主査を務めております、KDDI株式会社の高野でございます。

高度無線通信研究委員会標準化部会 Future IMT WGは平成22年11月に設立され、同年12月以降、ITU-Rにおける将来IMTの検討課題に対する対応、ITU-Rが開催する将来IMTに関するワークショップ(2011年3月21日:タイ・バンコク)への対応、CJK IMT WGのSIG-Future IMTで作成を進めているWhite Paper(アジア諸国におけるマーケット予測やトラフィック予測等を記載)の作成、APT Wireless Group (AWG)における将来のIMTに関する検討課題に対する対応等の活動を行ってまいりました。

モバイル市場を取り巻く環境は劇的に変化しております。まず、モバイル市場を劇的に変えたものとして、スマートフォンの台頭が挙げられます。インターネットとの親和性が高いスマートフォンには様々なアプリケーションが提供され、お客様の利便性を高めています。また、タブレット型端末、3D端末など様々な端末の普及が進むとともに、M2Mなどの市場も拡大し、更にモバイルブロードバンド化が加速されるものと予測されています。この結果、モバイルトラフィックは増え続け、今後増え続けるトラフィックをいかに収容していくべきかが非常に重要な課題となっております。

この課題を解決すべく、将来のIMTの市場動向調査等の検討が非常に重要となってまいります。本WGでこれらに関連する事項を検討させていただくことを非常に光栄に思っております。

本WGでは、携帯電話事業者様、ベンダー様等の皆様が構成員となっていただいております。幅広いご意見を賜りながら活動を行っております。皆様のご協力を得ながら、引き続き我が国の国際標準化活動に貢献して参りたいと思っておりますので、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

## 編集後記

本日、3月5日は「啓蟄」で、地中で冬ごもりしていた虫が春の到来を感じ、草木が芽吹くと同時に地上へ這い出してくるという日です。今年は寒さが厳しく、虫達もいつでたらいいのやら迷っているかもしれませんが、日差しは確実に強くなってきていますね。

皆様もしっかり家から這い出して、活発に動き出しましょう。

(編集子 : bsj)

ARIB

Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS  
発行所

一般社団法人 電波産業会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-1 日土地ビル11F  
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103  
http://www.arib.or.jp E-mail arib\_news@arib.or.jp